

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北海道教育大学
設置者名	国立大学法人北海道教育大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教育学部	教員養成課程(札幌校)		2	10	2	14	13	
	教員養成課程(旭川校)				2	14	13	
	教員養成課程(釧路校)				2	14	13	
	国際地域学科			4	8	14	13	
	芸術・スポーツ文化学科			—	11	13	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学教育情報システム上のシラバス検索において、キーワード検索（「実務経験」又は「経験あり」）することで、実務経験のある教員等による授業科目が閲覧可能である。</p> <p>本学ホームページ 教育情報の公表 「5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること」 https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info-kyouiku.html</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道教育大学
設置者名	国立大学法人北海道教育大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/intro/adminstrative.html で公表 北海道教育大学概要に掲載（北海道教育大学概要の入手方法は総務部総務課に請求）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	室蘭工業大学副学長・ 事務局長	平成31年 4月1日～ 令和元年 9月30日	総務、財務、評価
(備考) 令和2年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道教育大学
設置者名	国立大学法人北海道教育大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学は「シラバス作成の手引き」を作成しており、授業担当教員は同手引きを参照の上、授業計画(シラバス)を作成している。授業計画(シラバス)は前期開始前にあたる2月～3月に大学教育情報システム上で作成を行い、4月の前期授業開始日にあわせて公表している。</p> <p>(1) 教育の質保証 北海道教育大学では、「到達目標」と「ディプロマ・ポリシー」の関係を明確にし、到達目標への到達で各科目の質保証とし、これらの総体として「ディプロマ・ポリシー」を実現した卒業時の質保証としています。</p> <p>(2) 到達目標と成績評価 教育の質保証は、シラバスに記載の到達目標への到達度を厳格に評価することによって担保されます。このため、到達目標に関し妥当な評価基準・方法を設定し、到達目標への到達度を測り、厳格な成績評価を行うことが求められます。また、厳格な評価を行いつつ、教員と学生が到達目標などシラバス記載内容を共有化し、一人でも多くの学生が到達目標に達するよう教員が指導を行うことが教育の質保証には必要不可欠です。</p> <p>(3) 授業計画 到達目標へ至る道筋として、授業計画があります。教員の十分な教育活動を示すものとして詳細な授業計画を提示すると同時に、予習・復習などの自学習の指導に関する詳細な記述をして、到達目標への道筋を示します。</p> <p>(4) 教育の質保証とシラバス 上で説明したように、シラバスは単なるコースカタログではなく、質保証の内訳書という大きな役割を担っています。各科目での成績評価の総体としての質保証を実現するためには、先ず充実したシラバスを用意し、それを実現することが肝要です。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページ 教育情報の公表 「5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること」 https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info-kyouiku.html</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに記載されている各授業科目の教育目標に対する学修者の到達度を見るため、講義、実験、実習、演習、実技等の授業形態に応じて、定期試験、課題レポート、発表及び討論等、適切な評価方法及び評価基準に基づき、学修の成果を評価し、所定の単位を与えている。</p>
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学のGPA制度は、学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高めるとともに、学期ごとの学修指導に役立てることを目的とするもので、次に掲げるとおりとする。</p> <p>GPAの算出方法は、履修した授業科目の単位数にGPを乗じ、その合計を履修単位数の合計で除して算出するものとし、次の計算式による。</p> $GPA = \Sigma (\text{履修した科目の単位数} \times GP) / \Sigma (\text{履修単位数})$ <p>成績評価：グレード・ポイント</p> <p>A : 4 B : 3 C : 2 D : 1 F : 0 F* : 0</p> <p>また、学生は、所属専攻、所属キャンパスにおける成績(GPA)分布を大学教育情報システムで確認することができる。</p>
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ 教育情報の公表 「6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること」 https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info-kyouiku.html</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【教員養成課程】 「北海道教育大学憲章」に示す「グローバルな視野と高度なコミュニケーション力を含む幅広い教養と、現代の学校教育現場の多様な課題に対応できる鋭敏な人間観察力、豊かな人間性並びに専門的能力を培い、北海道の地域特性を生かした教育実践を創造的に展開する教師を養成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部教員養成課程の卒業を認定し、学位を授与します。 卒業認定・学位授与方針に対応した授業科目及び所定の単位を修得した者に卒業を認定している。</p> <p>【国際地域学科】 「北海道教育大学憲章」に示す「地域学を構成する学問領域の探究を深めるとともに、豊かな国際感覚と語学力をもち、地域を活性化できる人材を育成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部国際地域学科の各専攻の卒業を認定し、学位を授与します。 卒業認定・学位授与方針に対応した授業科目及び所定の単位を修得した者に卒業を認定している。</p> <p>【芸術・スポーツ文化学科】 「北海道教育大学憲章」に示す「芸術・スポーツの専門性を高め、地域の多様なニーズに応えるための活動を市民とともに実践し、地域の健康と文化振興に貢献できる人材を育成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部芸術・スポーツ文化学科の各専攻の卒業を認定し、学位を授与します。 卒業認定・学位授与方針に対応した授業科目を履修し、かつ、所定の単位を修得した者に卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本学ホームページ「教育における3つの方針」 https://www.hokkyodai.ac.jp/faculty/policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北海道教育大学
設置者名	国立大学法人北海道教育大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/financial-statement.html
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/financial-statement.html
財産目録	該当なし ※学校法人には作成が義務づけられているが、本学を含め国立大学法人では作成していない書式
事業報告書	本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/business-report.html
監事による監査報告(書)	本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度年度計画 対象年度:令和元年度(平成31年度))
公表方法:本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/plan/no-003.html
中長期計画(名称:国立大学法人北海道教育大学中期計画 対象年度:平成28年度~令和3年度)
公表方法:本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info/plan/no-003.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000500/00000545/h28_jikotenkenhyoka_kyoshoku.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000500/00000547/H27_ninsyohyoka_kekka.Pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的 公表方法：本学ホームページ「学部の課程及び学科における人材の養成に関する目的」 https://www.hokkyodai.ac.jp/faculty/intro/jinzaiousei.html
(概要) <人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（学則から）> ○教員養成課程 現代の学校教育現場の多様な課題に対応できる豊かな人間性、幅広い教養、知性並びに専門的能力を持ち、子どもを深く理解し、北海道の地域特性を活かした教育実践を創造的に展開する教員を養成する。 ○国際地域学科地域協働専攻 地域学の基本的知識、教育学的視点及び地域学を支える諸科学の専門知識を持ち、グローバル化した現代社会の地域学的問題を俯瞰的に捉え、国際的視野を持って地域社会の諸問題の解決のために積極的かつ主体的に行動できる人材を養成する。 ○国際地域学科地域教育専攻 地域の教育的課題解決に主体的に取り組み、特にグローバル化した現代社会に必要な国際性を持った子どもたちを育成するとともに、いじめ、不登校等の問題に苦しんでいる特別なニーズのある子どもの支援に先導的に取り組むことができる人材を養成する。 ○芸術・スポーツ文化学科芸術・スポーツビジネス専攻 芸術・スポーツ文化を活かしたマネジメントの知識及び組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通じた地域活性化及びまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材を養成する。 ○芸術・スポーツ文化学科音楽文化専攻 音楽文化による地域の活性化を促すことができるとともに、音楽に関する専門的な知識、技法及び技能を有し、自らの創作活動を発信することにより、音楽文化を地域社会に広める人材を養成する。 ○芸術・スポーツ文化学科美術文化専攻 美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、豊かな技術及び諸問題を切り開く構想力を有する人材を養成する。 ○芸術・スポーツ文化学科スポーツ文化専攻 スポーツ文化を地域社会に広めスポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識及び技能を有し、スポーツ指導ができる人材を養成する。

卒業の認定に関する方針

公表方法：本学ホームページ「教育における3つの方針」

<https://www.hokkyodai.ac.jp/faculty/policy.html>

(概要)

【教員養成課程】

「北海道教育大学憲章」に示す「グローバルな視野と高度なコミュニケーション力を含む幅広い教養と、現代の学校教育現場の多様な課題に対応できる鋭敏な人間観察力、豊かな人間性並びに専門的能力を培い、北海道の地域特性を生かした教育実践を創造的に展開する教師を養成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部教員養成課程の卒業を認定し、学位を授与します。

【国際地域学科】

「北海道教育大学憲章」に示す「地域学を構成する学問領域の探究を深めるとともに、豊かな国際感覚と語学力をもち、地域を活性化できる人材を育成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部国際地域学科の各専攻の卒業を認定し、学位を授与します。

【芸術・スポーツ文化学科】

「北海道教育大学憲章」に示す「芸術・スポーツの専門性を高め、地域の多様なニーズに応えるための活動を市民とともに実践し、地域の健康と文化振興に貢献できる人材を育成する」という本学の教育に関する目標に基づき、資質・能力を身につけた者に対して、本学教育学部芸術・スポーツ文化学科の各専攻の卒業を認定し、学位を授与します。

教育課程の編成及び実施に関する方針

公表方法：本学ホームページ「教育における3つの方針」

<https://www.hokkyodai.ac.jp/faculty/policy.html>

(概要)

【教員養成課程】

本学教育学部教員養成課程の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、「教育課程の編成の方針」「教育課程の実施の方針」「学修成果の評価の方針」で教育課程を編成し、実施します。

【国際地域学科】

本学教育学部国際地域学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、「教育課程の編成の方針」「教育課程の実施の方針」「学修成果の評価の方針」で教育課程を編成し、実施します。

【芸術・スポーツ文化学科】

本学教育学部芸術・スポーツ文化学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、「教育課程の編成の方針」「教育課程の実施の方針」「学修成果の評価の方針」で教育課程を編成し、実施します。

<p>入学者の受入れに関する方針 公表方法：本学ホームページ 「教育における3つの方針」 https://www.hokkyodai.ac.jp/faculty/policy.html</p>
<p>(概要) 入学者の受入れに関する方針において、教員養成課程、国際地域学科及び芸術・スポーツ文化学科ごとに求める能力や適性等を「求める学生像」で示しています。 教員養成課程では、地域社会に積極的に貢献できる教員に求められる能力や適性等、国際地域学科では、国際的な幅広い視野を持って、身近な地域を活性化・再生できる人材に求められる能力や適性等、芸術・スポーツ文化学科では、芸術・スポーツ文化を多面的に追求し、地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材に求められる能力や適性等を「求める学生像」にて示しています。 また、どのような方針で入学者選抜を行うかを「入学者選抜の基本方針」にて示しています。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ 教育情報の公表「2. 教育研究上の基本組織に関すること」 https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info-kyouiku.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
教育学部	—	156人	139人	33人	0人	0人	328人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		618人					618人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://kensoran.hokkyodai.ac.jp/huehp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>教員養成を担う大学教員の実践的指導力の育成・強化を図るため、附属学校を活用した新任大学教員研修プログラム並びに教員現職研修プログラムを実施している。また、FD全学運営員会を設置し、授業の内容及び方法を改善し向上させるための組織的な研修及び研究を実施している。（平成30年度FD活動：実施件数43件、参加者数のべ768名）</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	1,185人	1,237人	104.4%	4,740人	5,055人	106.6%	若干名	5人
合計	1,185人	1,237人	104.4%	4,740人	5,055人	106.6%	若干名	5人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教員養成課程	719人 (100%)	55人 (7.6%)	627人 (87.2%)	37人 (5.1%)
国際地域学科	247人 (100%)	6人 (2.4%)	215人 (87.0%)	26人 (10.5%)
芸術・スポーツ文化学科	184人 (100%)	12人 (6.5%)	152人 (82.6%)	20人 (10.9%)
合計	1,150人 (100%)	73人 (6.3%)	994人 (86.4%)	83人 (7.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 公立学校教員				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	1,230人 (100%)	1,061人 (86.3%)	132人 (10.7%)	37人 (3.0%)	0人 (0.0%)
合計	1,230人 (100%)	1,061人 (86.3%)	132人 (10.7%)	37人 (3.0%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
開講する授業科目に係る授業計画(シラバス)を4月の前期授業開始日にあわせて、前期及び後期に開講する開講科目を公表しているほか、各学年の履修計画や卒業要件等を把握できるよう履修基準を公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA 制度は、学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高めるとともに、学期ごとの学修指導に役立てることを目的とするもので、次に掲げるとおり。</p> <p>GPA の算出方法は、履修した授業科目の単位数に GP を乗じ、その合計を履修単位数の合計で除して算出するものとし、次の計算式による。</p> $GPA = \Sigma (\text{履修した科目の単位数} \times GP) / \Sigma (\text{履修単位数})$ <p>成績評価：グレード・ポイント</p> <p>A : 4</p> <p>B : 3</p> <p>C : 2</p> <p>D : 1</p> <p>F : 0</p> <p>F* : 0</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	教員養成課程	134 単位	有・無	32 単位
	国際地域学科 (地域協働専攻)	124 単位	有・無	30 単位
	国際地域学科 (地域教育専攻)	130 単位	有・無	30 単位
	芸術・スポーツ文化学科	124 単位	有・無	30 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：公表していない。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学ホームページ 学生生活等実態調査報告書「学生生活等実態調査報告書 (平成 29 年度)」 https://www.hokkyodai.ac.jp/student/support/factual-investigation.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ 教育情報の公表「7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること」 https://www.hokkyodai.ac.jp/public/info-kyouiku.html</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	教員養成 課程	535,800 円	282,000 円	円	
	国際地域 学科				
	芸術・ スポーツ 文化学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 個々の学生へ学生指導教員による修学の指導・助言、学生からの履修相談や授業に関する質問等に応じるオフィス・アワーの設定、GPA制度・CAP制を活用した修学指導など、学生の修学を支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本学学生のキャリア支援、就職活動支援等のために各キャンパスにキャリアセンターを設置し、主に、キャリア相談員による就職相談、キャリア支援講座、インターンシップ、合同企業説明会、教員・公務員説明会等の実施、学生向け刊行物の発行等を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図るため、保健管理センターを設置している。 保健管理センターでは、学生を対象に、定期健康診断、応急処置、健康診断証明書の発行、各種測定などを行っている他、医師、看護師、カウンセラーを配置し、健康相談、心身の健康についての相談にあっている。 その他、学生の様々な悩み相談に対応するため、各キャンパスに「学生なんでも相談室」を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/distinctive/
